ハンドマイク街頭演説原稿例　臨時国会始まる

二〇二四年十一月二十九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　十一月二十八日から、臨時国会が始まりました。石破政権になって初めての、本格的な論戦が行われる国会となります。先の総選挙で政権与党が過半数割れとなり、野党がどのような態度を取るか、まさに各党の真価が問われる国会となるのではないでしょうか。日本共産党は皆さんの願いを国会に届け、実現するために全力で取り組む決意です。

　みなさん、安倍、菅、岸田の各政権は、自民党１強のもと、国会審議を軽く扱い、数の力で野党と国民の声を踏みにじって法案を押し通し続けました。先の総選挙の結果、石破内閣は少数与党となり、今までのようなやり方はできなくなりました。日本共産党は他の党とも協力して民主的な国会運営をつらぬき、国会を政府の決定を追認するだけの場から、国権の最高機関としてしっかり議論する場にするため、全力をあげる決意です。

　さてみなさん、臨時国会の最大の焦点は、裏金事件の真相を解明し金権腐敗をなくすため、国会がどう取り組むかにあるのではないでしょうか。裏金問題を最初にスクープした「しんぶん赤旗」を発行する政党として、日本共産党は引き続き裏金問題の全容究明に取り組みます。疑惑を持たれている議員に対して、公開の政治倫理審査会への出席を求めるとともに、ウソの証言が許されない証人喚問を行うことを、強く求めます。政治とカネの問題で日本共産党は、企業や業界団体からの政治献金を全面的に禁止する法案と、国民の税金を政党に垂れ流す政党助成金を廃止する法案を参議院に提出しました。政治改革を求めるみなさんの願いを、どうか日本共産党にお寄せください。

　みなさん、臨時国会のもう一つの課題は、経済対策ではないでしょうか。日本共産党は総選挙で掲げた公約、紙の健康保険証の存続、大学の学費値上げストップ、選択的夫婦別姓制度の導入などの実現に、全力でがんばります。また、「年収百三万円の壁」が話題になっています。生活に必要なお金に税金をかけないという原則から考えれば、課税最低限度を百三万円から引き上げることは当然必要だと、日本共産党も考えます。同時に、「百三万円の壁」だけ解決しても、国民の暮らしが良くなるとは限りません。生活に必要なものに容赦なく課税される消費税を引き下げることも、国民の生活を支えるために必要なことではないでしょうか。日本共産党は、収入の少ない人ほど負担が重くなる消費税の廃止をめざし、当面は５％に減税することを主張しています。

　そしてみなさん、この国会は、国民の暮らしを支えるための予算を切り詰めて、他国を攻撃するような武器や装備を買いあさるような政治をやめさせるチャンスでもあります。日本共産党は国と国とのもめごとを戦争にせず、徹底的な話し合いで解決するという立場をつらぬきます。引き続き日本共産党へのご支持、ご協力をお願いいたします。

　日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）